

| | |
|----------------------|--------------------|
| 令和元年 10 月 25 日 14:00 | |
| 資料提供（文化庁と同時資料提供） | |
| 担当課・班 | 文化遺産課 調査班・世界遺産班 |
| 担当者 | 高橋智也・仲原知之 |
| 電話 | 073-441-3731・3740 |

「歴史の道百選」の追加選定について

文化庁は、「歴史の道百選」の追加選定と既選定歴史の道の範囲変更を行うことを決定しました。県内では、「葛城修験の道」「古座街道」が追加選定されます。また、既選定の「熊野参詣道」「高野山参詣道」は範囲変更されます。

記

1 追加選定

(1) 名称 葛城修験の道（別紙1）
所在 和歌山市・岩出市・紀の川市・橋本市・かつらぎ町

(2) 名称 古座街道（別紙2）
所在 白浜町・上富田町・すさみ町・古座川町

2 範囲変更

(1) 名称 熊野参詣道（別紙3）
所在 海南市・有田市・湯浅町・御坊市・印南町・みなべ町・田辺市
上富田町・新宮市・那智勝浦町・白浜町・すさみ町・串本町

(2) 名称 高野山参詣道（別紙4）
所在 紀の川市・橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町

※今回の「葛城修験の道」「古座街道」の追加選定により、県内の「歴史の道百選」選定件数は4件となります。（「熊野参詣道」「高野山参詣道」は平成8年に選定されています。）

※写真等データは、e5007001@pref.wakayama.lg.jp までご連絡いただければ提供します。

報道解禁（文化庁と同時発表のため）

- テレビ・ラジオ・インターネットは、10月29日（火）17時
- 新聞は、10月30日（水）朝刊以降 お願いします。

歴史の道百選

- ・「歴史の道」及びそれに関連する地域の文化財への国民の関心と理解を深めることを目的に、平成8年に文化庁が選定委員会の検討を踏まえて文物や人々の交流の舞台となってきた古道・運河等を選定したものです。
- ・平成8年の当初選定時は78か所の道が選定されていました。
- ・今回の追加選定により全国で114か所となります。

葛城修験の道の概要

歴史

紀伊・和泉・河内・大和の4か国に跨る葛城山系は、役小角（役行者）の所縁から古代より修験の聖地として尊崇されてきました。その役行者が法華経八卷二十八品を埋納したとされる経塚を「葛城二十八宿」として、行場・拝所・宿所等を設けて、また関係寺院を含めて修行の場としました。

これらを繋ぐ道は、近世には聖護院、三宝院両門跡をはじめとして多くの修験者が入峯するようになり、今も修行の場として使用されています。

現状

現在、葛城修験の道については、かつての道（山道）が残存している部分と既に拡幅・舗装された部分が混在しています。歴史の道は繋がっていることも重要であることから、選定された範囲については、原則としてかつての道が残存している部分を中心としつつも、それを繋ぐ舗装路等も対象となっています。

選定箇所

行者杉（橋本市）～蔵王峠（かつらぎ町）～葛城山頂～神通～粉河寺・松峠～土仏峠（紀の川市）～根来寺・押川付近、槌ノ子峠（岩出市）～懺法ヶ嶽～孝子峠～舟着場、友ヶ島（沖ノ島・虎島）（和歌山市）



友ヶ島に行く修験者



土仏峠からの風景



中津川行者堂

古座街道の概要

歴史

田辺と古座を最短で結ぶ街道で、近世以降に林業・製炭業や行商人の往来、西国巡礼等に広く利用されました。街道沿いには石仏が多く、一部石畳道も残っています。明治時代には、熊野中道とも呼ばれていました。

現状

古座街道は、舗装道路となってしまった箇所もありますが、法師峠や宇津木越などで土道が残っている区間があります。今回、古座街道のうち土道の残る箇所が選定されました。

選定箇所

潤野、一雨～相瀬、長追（古座川町）～佐本根倉、佐本中、法師峠（すさみ町）、宇津木越（白浜町・上富田町）



水源の大師像（すさみ町）



福井谷坂の石畳（古座川町）

熊野参詣道の概要

歴史

熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、那智山青岸渡寺は「熊野三山」と呼ばれ、中世以降、熊野参詣道を通して多くの参詣者が詣でました。熊野参詣道は、紀伊半島西岸を通る紀伊路、東岸を通る伊勢路、高野山と熊野三山を結ぶ小辺路に大別されます。紀伊路は紀伊半島を横断する中辺路と海岸沿いの大辺路に分岐します。

現状

平成8年度に、伊勢路のうち馬越峠道（三重県紀北町）～八鬼山道（尾鷲市）、紀伊路のうち河瀬王子～高家王子（和歌山県広川町～日高町）、中辺路のうち大門坂～請川・熊野本宮旧社地～潮見峠（和歌山県那智勝浦町・新宮市・田辺市）が歴史の道百選に選定されていました。

現状で、土道の残る多くの部分は国史跡に指定され、中辺路、大辺路、小辺路、伊勢路の一部は、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産にもなっています。今回、土道の残る箇所が追加されました。

追加箇所

紀伊路 一藤白坂、拝ノ峠（海南市）、蕪坂（有田市）、糸我峠（有田市・湯浅町）、藤田町吉田（御坊市）、榎木峠（印南町）、千里の浜（みなべ町）

中辺路 一南谷、鴻田、高野坂、殿和田（新宮市・那智勝浦町）、小狗子峠、大狗子峠、青岸渡寺～阿弥陀寺～妙法山（那智勝浦町）、大日越、耳打～渡瀬、赤木越、北郡越、長尾坂（田辺市）、岩田（上富田町）、岡坂越（上富田町・田辺市）

小栗街道一本宮～湯峯、桧葉～四辻峠～武住峠、大瀬～四辻峠、和田峠、定峠、水呑峠、草木尾坂（田辺市）

大辺路 一駿田峠、二河峠、市屋峠、浦神峠（那智勝浦町）、清水峠（那智勝浦町・串本町）、袋平見、山越古道、高場平見、飛渡谷道、地藏平見、富山平見、中平見、赤瀬平見、安指平見、新田平見、雨島平見、

伝次平見（串本町）、六坊浜、大平見、中の平見、上平見、スリの
浜、長井坂、タオの峠、馬転坂（すさみ町）、安宅坂（すさみ町・
白浜町）、仏坂、富田坂（白浜町）

小辺路 一八木尾（田辺市）

伊勢路 一志古（新宮市）～万歳峠（田辺市）、大津荷（田辺市）～万歳峠（田
辺市・新宮市）

高野山参詣道の概要

歴史

弘仁7年(816)に弘法大師(空海)が真言密教の根本道場として高野山を開いて以降、参詣者の出発地点に応じて「高野七口(大門口、龍神口、相ノ浦口、大滝口、大峰口、黒河口、不動口)」と呼ばれる山内への入口に至る複数の参詣道が形成されました。

現状

平成8年度に、町石道の紀ノ川船着場・慈尊院～丹生官省符神社～ニツ鳥居～高野山奥の院(九度山町～かつらぎ町～高野町)が歴史の道百選に選定されていました。

町石道、三谷坂、京大坂道不動坂、黒河道、女人道は一部が国史跡に指定され、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産にもなっています。今回、高野七口のうち土道が残る箇所が追加されました。

*世界遺産の構成資産名及び国指定史跡名は「高野参詣道」ですが、平成8年度の歴史の道百選選定時の「高野山参詣道」を踏襲しています。

追加箇所

町石道 一八町坂(かつらぎ町)

黒河道 一賢堂、清水(橋本市)、青淵・わらん谷(九度山町・橋本市)、太閤坂・戦場山、北又(九度山町)～子継峠(高野町)、北又～黒河峠(九度山町)～金剛峯寺奥院(高野町)

京大坂道 一西郷、不動坂(高野町)

槇尾道 一椎出(九度山町)～細川(高野町)

三谷坂 一頬切地藏～笠松峠、笠松峠～上天野、笠松峠～六本杉、六本杉～上天野(かつらぎ町)

西国街道(麻生津道) 一高峠(かつらぎ町・紀の川市)・志賀(かつらぎ町)、

梨子ノ木峠（かつらぎ町）・聖峠（かつらぎ町・高野町）

大峰道 一桜峠（高野町）

女人道 一摩尼山周辺～揚柳山～子継峠～転軸山周辺、黒河口～不動口～大
門口、龍神口～相ノ浦口～大滝口、大峰口～円通寺（高野町）

小辺路 一水ヶ峰、大滝～薄峠（高野町）

相ノ浦道一相浦～笠松峠～相ノ浦口（高野町）

有田龍神道一旧辻の茶屋跡～新辻の茶屋跡（かつらぎ町）